

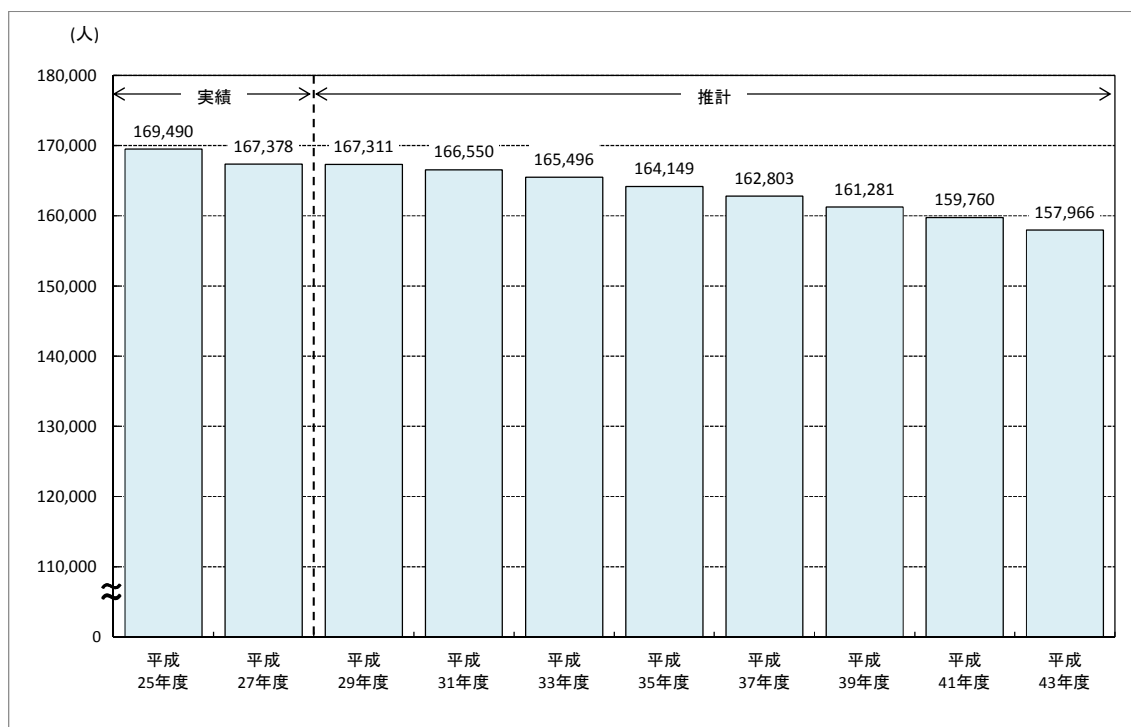
第3章 人口とごみ量の将来予測

第1節 人口の予測

本市の人口は、昭和30年の市制施行以降、年々増加してきましたが、平成22年9月1日の170,417人をピークに減少に転じ、今後も減少傾向は続くものと予測されています。

本計画の推計人口は、「秦野市人口ビジョン」の人口推計結果を採用しています。

図15 推計人口



第2節 ごみ量の予測

ごみ量については、平成27年度（現在）の生活水準を維持し、人口の減少によってごみ量が減少すると仮定しました。

さらに、平成37年度末までに、はだのクリーンセンター1施設体制で処理を行う必要があるため、新たな施策による減量効果等に加え、将来におけるごみ量を算出しました。

ごみ量は、総ごみ排出量から総資源化量を除いたものを指し、総資源化量及び資源化率は、中間処理前の数値です。

図16 ごみ減量・資源化施策を実施した場合のごみ量の予測

